

建築物名称	株式会社日本精機研究所富士工場
受付日	令和元年5月24日
建物所在地	富士市大淵字高山338-38
構造規模等	鉄骨造／地上2階／延床面積2,265.23平方メートル／新築
建物用途区分	工場
建築主	株式会社日本精機研究所 代表取締役 山口久一
設計者	株式会社アルファ設計一級建築士事務所 望月政司
工事完了予定日	令和2年3月31日

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(株)日本精機研究所富士工場	階数	地上2F
建設地	静岡県富士市大淵字高山338-38	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	45 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,150 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年5月13日
敷地面積	8,673 m ²	作成者	望月政司
建築面積	1,941 m ²	確認日	
延床面積	2,265 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
0	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
仕上材料は全てF★★★★を使用し室内環境に配慮した。	階高、空間のゆとりをもって計画を行った。	敷地内の緑地確保に努め、敷地内温熱環境に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物断熱性能、機器省エネ性能等に配慮した。BEIm=0.76	水栓、給湯設備には節水機能のあるものを採用し、環境に配慮した。	光害対策が「ガイドライン」に基づき計画を行った。屋外広告物照明を行わず敷地外環境に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



□欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(株)日本精機研究所富士工場	BEE	0.8	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 [※] /満点		取組み度		評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.8	/5			がんばろう	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0	/5			ふつう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5	/5			がんばろう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5	/5			がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。				
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	2.8	
■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥敷地内の緑地確保に努め、敷地内温熱環境に考慮した。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦⑧BEIm=0.76 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪水栓、給湯設備には節水機能のあるものを採用し、環境に配慮した。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮敷地内の緑地、空地の確保に配慮した。	Q-1 2 3 2.1.2 ①	外皮性能		
	Q-1 3 3 3.1.3 ②	屋光利用設備		
	3 3.2.1 ③	屋光制御		
	Q-2 2 3 2.2.1 ④	躯体材料の耐用年数		
	3 2.2.2 ④	外壁仕上げ材の補修必要間隔		
3 2.2.3 ④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			
3 2.2.4 ④	空調換気ダクトの更新必要間隔			
3 2.2.5 ④	空調・給排水配管の更新必要間隔			
3 2.2.6 ④	主要設備機器の更新必要間隔			
Q-3 1 3 ⑤	生物環境の保全と創出			
3 3 ⑥	敷地内温熱環境の向上			
LR-1 1 5 ⑦	建物外皮の熱負荷抑制			
2 3 ⑧	自然エネルギー利用			
3 3 ⑨	設備システムの高効率化			
4 3 ⑩	モニタリング			
3 ⑩	運用管理体制			
LR-2 1 3 ⑪	節水			
3 1.2.1 ⑪	雨水利用システム導入の有無			
3 1.2.2 ⑪	雑排水等利用システム導入の有無			
2 4 2.1.1 ⑫	材料使用量の削減			
3 2.1.2 ⑫	既存建築躯体等の継続使用			
3 2.1.3 ⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用			
3 2.1.4 ⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			
3 2.1.5 ⑫	持続可能な森林から産出された木材			
3 2.1.6 ⑫	部材の再利用可能性向上への取組み			
3 3 ⑬	有害物質を含まない材料の使用			
3 3.2.1 ⑬	消火剤			
3 3.2.2 ⑬	断熱材			
3 3.2.3 ⑬	冷媒			
LR-3 1 3.3 ⑭	地球温暖化への配慮			
2 2 ⑮	温熱環境悪化の改善			
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	3.0	
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2 2 3 2.1.1 ⑯	耐震性		
	3 2.1.2 ⑯	免震・制振性能		
	3 2.4.1 ⑰	空調・換気設備		
	3 2.4.2 ⑰	給排水・衛生設備		
	3 2.4.3 ⑰	電気設備		
	3 2.4.4 ⑰	機械・配管支持方法		
	1 2.4.5 ⑰	通信・情報設備		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点	2.5	
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳空間形状にゆとりを持たせるようにした。 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-2 1 3 1.1.3 ⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画		
	3 5 3.1.1 ⑲	階高のゆとり		
	4 3.1.2 ⑲	空間の形状・自由さ		
	Q-3 3 3 ⑳	地域性への配慮、快適性の向上		
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.5	
■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上) ㉔敷地内緑地を極力とり、暑熱環境の緩和に考慮した。 ■敷地外環境対策 (㉕温熱環境悪化の改善)	Q-3 1 3 ⑵	生物環境の保全と創出		
	2 3 ⑵	まちなみ景観への配慮		
	3 3 ⑶	敷地内温熱環境の向上		
	LR-3 2 2 ⑵	温熱環境悪化の改善		